

皆さま、こんにちは。ついに梅雨入りとなりましたね。今年は、例年よりもかなり遅い梅雨入りでした。また、梅雨に入ったのに熊谷市でも35度の猛暑日になるなど、『梅雨らしくない梅雨』とも言われています。体調をくずしたりしていませんか。想像したくはないですが、梅雨があけると猛暑となりますので、今から美味しいものをたくさん食べて猛暑に負けないようにしましょう・・・

さて、第3号からは『看護部長が聞く・・・各部署の特徴と魅力や強みを自慢しよう！』と題し、各部署にインタビューに行きたいと思います。トップバッターは、もちろん??看護部です。皆さまの部署にも行きますので、どうぞよろしくお願いいたします。

看護部長 佐川みゆき

看護部

看護部ってこんなところ

看護部は、ひと言でいうと行田総合病院の「看護の質」を管理している部署です。看護の質保証とは、『患者さんの療養生活が安心・安全である』という事です。つまり、感染が起らない、医療事故が起らない、褥瘡ができない等です。アクシデントが起きた時に、看護部が聞き取りをしますが、それはこの事をきっかけにより良い医療・看護を提供できるようにするために、ご協力をお願いします。更に、看護の質を保つためには、スタッフの皆さまの教育や職場環境の整備も重要です。教育をはじめとする人材育成、労務管理(時間外勤務や勤務表の管理など)他看護師の皆さんが働きやすいように部署長と連携しています。また、各コメディカルの長と業務に関する様々な調整を行ったり、医師との連携も行っています。

看護部は、新南棟4階事務室内にあります。お気軽にお越しください。

看護部自慢してみた♡

看護部は、私、佐川と尾島副部長、梶ヶ谷感染管理認定看護師がおります。自慢と言えば、梶ヶ谷さんは、大学病院での経験を持つ感染管理のスペシャリストです。そして、私と尾島副部長は、他病院での勤務経験もあり、経験豊富です。それでは、個々の自慢を一言で言ってもらいます。

梶ヶ谷:『あきらめない』、『チャレンジ精神』が強みです。

尾島:現場も事務仕事も卒なくこなします。佐川:スーパーポジティブなところ。悩んだり落ち込んだりしても長くても3日で元気になります(笑)

そんな私たち3人が織りなすケミストリーで看護部を盛り上げま〜す♡

